

かりん放課後等デイサービス自己評価表(職員向け)

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	3		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策で間隔をあけたり、身体を動かす活動時など10人以上いると狭く感じる。 ・活動に合わせて机をしまったり、席を誘導したりスペースを確保できるようにしている。 ・個室等を使用しながら活動している。 ・外や交流スペースを使用しながら、体を動かす活動を取り入れている。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時、保護者との申し送り時、室内が手薄になってしまう時は、児童発達支援の方に補助してもらっている。 ・時間帯や子ども達の様子によって変わるが、児童発達支援の方の協力が有り助かっている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染防止対策の1つとして、合同で使用していた玄関口から、単独の出入り口とした。しかし、掃き出し口を出入口にしたことで、砂場の段差があり、通りづらい時がある。 ・出入口のスペースが狭く、砂場と水道の間で夕方は足元が見えにくい等、出入口の工夫していくことを検討中。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で取組等、話し合いをして改善している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と相談をし、個別支援計画に沿って実施をしている。また、結果を関係機関と共有をし、支援につなげている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・その都度相談、提案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・SST、季節の行事、工作、運動、ビジョントレーニングなど。また、随時、場面に合ったやりとりの方法や行動を伝えている。

	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			・こどもたちの体調や様子、気候を考慮して支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			・学校からの引継ぎ、気づいた点等を共有している。 ・送迎時や支援中のこどもたちとの会話や様子を共有し、変化や次回の支援について確認している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1		・お互いの事業所の担当者同士で情報を共有している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5			
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1		
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2		・相談事業所わかばへの情報共有を行い、繋げている。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1		・コロナ禍で研修参加は減っているが行っている。
	㉕	地域との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3		・コロナ対策のため、他の施設との交流を控えている。しかし、交流の機会は減っているが、可能な範囲で交流できるように務めている。
	㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	5			・法人の代表が参加している。

一携	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			・課題のねらい・目的をボードに貼り出すようにしている。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5			・就学に向けての支援を行っている。
	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			・契約時、利用説明等で伝えている。
保護者への説明責任等	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			・心理士・言語聴覚士と情報を共有し、専門家からも助言をいただいている。
	㉔	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			
	㉕	定期的にホームページ等で、活動概要や行事予定、業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1		
	㉖	個人情報に十分注意しているか	5			・個人のスマホで撮ってしまっている。(課題内容についてなど、保護者との共有のため使用することがある)
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3		・コロナ禍で浅市等の企画やとちのみ祭等も中止となり、今後の状況を見ての再開となる。
非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			・契約時に伝えている。 ・感染防止対策については周知しているが、その他不十分な点は改善していく。
	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5			・フロン浅沼全体の避難訓練に参加している。
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1		・法人代表者が参加した資料を配布し、周知している。
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			・法人としての事例等を共有。